

審査委員会で選定した6つの防災アプリの概要

<避難誘導支援部門>

受賞名	防災アプリ賞	入選 空間情報デザイン賞	入選 観光防災チャレンジ賞
アプリ名称	goo 防災アプリ	MY 防災	MinaVi
応募者名	NTT レゾナント 株式会社	株式会社 ジェッセ	サークル Snow White
概要	<p>気象・災害発生等の PUSH 通知機能や各種防災コンテンツ等を含んだ総合防災ポータルアプリ。</p> <p>全国の防災マップや安否確認機能など多くの機能を搭載している。</p> <p>詳細については「別紙1」を参照</p>	<p>起こりうる様々な災害を想定し、指定避難場所の登録、位置情報の共有が可能なアプリ。</p> <p>災害時の避難機能も搭載しており、素早い反応、判断が可能となる。</p> <p>詳細については「別紙2」を参照</p>	<p>観光機能と防災機能を兼ね備えた複合アプリ。</p> <p>平常時は観光アプリとして機能し、緊急時には瞬時にモードを切り替えることが可能である。</p> <p>詳細については「別紙3」を参照</p>
選定理由	<p>操作性やレスポンスなどの完成度に優れる上、利用する防災地理空間情報の種類が多い。</p> <p>防災地理空間情報を見ながら避難誘導が可能であることや避難訓練機能を有する点が優れており、オフラインでも利用が可能である。</p>	<p>操作性やレスポンスなどの完成度に優れる上、利用する防災地理空間情報の種類が多い。</p> <p>災害種別を想定して避難場所を登録する機能や所在地の被災リスクを推測する機能などに優れている。</p>	<p>災害時には、PUSH通知で自動的に平常時モードから災害時モードに変更することが可能である。</p> <p>観光案内機能など平常時にも利用できる機能を持つことや多言語対応されている点が優れている。</p>
イメージ	 <p>避難経路の標高グラフを表示</p>	 <p>現在地から登録した避難所を表示</p>	 <p>津波浸水域を表示</p> <p>ARカメラ</p>
アプリ入手先	<p>Android</p>  <p>https://sta.bousai.go.jp/apps_gsi/</p> <p>※Basic 認証がかかっておりますので、認証画面が表示されましたら、以下の情報を入力し、ダウンロードを行ってください。</p> <p>ID:kamakura PW:kamakura2015</p>	<p>実験用アプリのため、一般には非公開。 公開時期は未定。</p>	<p>Android</p>  <p>http://www.snowwhite.hokkaido.jp/circle/minavi.html</p> <p>リンク先のページ下部にダウンロードボタンがございます。</p>

<リスクコミュニケーション部門>

受賞名	防災アプリ賞	入選 傾斜区分チャレンジ賞	入選 グッドデザイン賞
アプリ名称	AR ハザードスコープ 鎌倉市版	DocuMap Mobile 傾斜区分マップ	My bousainote
応募者名	株式会社 キャドセンター	株式会社 永大開発コンサルタント	佐野大河・木村汐里
概要	<p><u>各種防災地理情報を地図表現するだけでなく、カメラを通した実写へハザード情報をAR(拡張現実)表現することができるアプリ。</u></p> <p>防災情報を体感することで、事前学習的に防災意識の向上を支援する。</p> <p>詳細については「別紙4」を参照</p>	<p><u>傾斜区分図と種々の地図コンテンツを利用し、避難方向等を支援するアプリ。</u></p> <p>災害発生直後や平常時に、避難可能な傾斜方向、被災の影響を避けるための高台方向を確認することができる。</p> <p>詳細については「別紙5」を参照</p>	<p><u>追跡記録した位置情報履歴から、その人の生活圏を自動判別し、その周辺の防災情報を提示するアプリ。</u></p> <p>自身の生活地域における災害リスクや避難所等の情報を把握し学習することができる。</p> <p>詳細については「別紙6」を参照</p>
選定理由	<p>操作性やレスポンスなどの完成度に優れる上、利用する防災地理空間情報の種類が多い。</p> <p><u>ARと地図を連動したハザード情報の提供や防災意識の向上を図るためのクイズ機能を有する点が優れており、オフライン時でも利用が可能である。</u></p>	<p><u>標高タイルを加工し、傾斜区分図を作成するなど、防災地理空間情報を効果的に活用している。</u> インターフェイスにLeaflet(地図表示のオープンソース)を利用しており、<u>防災情報のインポート機能など自由度があり優れている。</u></p>	<p>追跡記録した位置情報履歴から、その人の生活圏を自動判別し、その周辺の防災地理空間情報を提示する点が優れている。<u>最寄りの避難所情報が容易に検索できる機能や任意の地点の津波浸水深を素早く表示する機能などに優れている。</u></p>
イメージ	 <p>津波浸水深をAR上で表示</p>	 <p>傾斜区分図の表示</p>	 <p>任意の点の津波浸水深を表示</p>
アプリ入手先	<p>実験用アプリのため、一般には非公開。 公開時期は未定。</p>	<p>Android</p>  <p>https://play.google.com/store/apps/details?id=yourside.xsrv.jp.documap&hl=ja</p>	<p>実験用アプリのため、一般には非公開。 11~12月頃リリース予定。</p>

※ 両部門の入選した4つのアプリは、それぞれの機能の特徴等に基づき、審査委員会において個別の賞名が与えられました。